



令和3年度 基本評価調書②	施策名	生涯学習の推進	施策コード	11071
---------------	-----	---------	-------	-------

### 【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	「自ら学習に取り組もうとする人が多い」と回答した割合	-	32.2	31.6	44.5	D
	「知識等をまちづくり等に生かしている」と回答した割合	58.3	59.8	57.3	67.5	C
	道民カレッジの主催講座・連携講座の受講者数	132,245	134,152	107,154	156,000	D
目標(指標)の達成状況	道民カレッジ事業における連携講座のオンライン化推進により住民の学びを止めず、主催事業(セミナー等)のオンライン開催により地域で住民の学びを推進する指導者育成を止めないという目的の元に、事業に取り組んでいる。				指標総合判定	D
連携状況	道民カレッジ事業において受講者(住民)に連続的な学びの機会を提供するために、主催講座と連携講座を一つのテーマでパッケージ化して提供するために、主催講座の連携先である大学と、連携講座の主な連携先である市町村と講座の企画を進めている。今後、受講者が学びの成果を活かす場づくりのために、知事部局の関連部署との連携を検討する。				連携判定	○
緊急性優先性	生涯学習審議会における意見の聴取や、生涯学習に関する住民の意識調査等を実施し、道民からのニーズを把握し、施策推進に役立てている。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	R2年6月1日現在と比較し、R3年度は1,302名多い受講者数となっている。R2年度はコロナ禍によりオンライン配信のための体制が多く連携講座団体で整っておらず、中止が相次いだこともある。				総合判定(一次評価)	やや遅れている

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	指導者の育成・養成のための研修事業の体系化について、社会教育主事講習の受講意欲を高めるための視点と、受講後のフォローアップまで見据えるという視点を盛り込む。
	②	道民の学びの機会充実のために、既存の道民カレッジ以外に、現代的課題に沿った効果的な手段がないか否かを検討する。
	③	

### 〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。	対応状況(R3.3時点)	道民カレッジの受講者数目標等の目標達成へ向けてのオンライン化と、オンライン環境が整っていない受講者に向け「まなびの広場」に視聴コーナーを設ける。
R3年度二次政策評価			

### 【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者の育成・養成のための研修事業について、社会教育主事講習を核とし、地域学校協働活動等の地域の社会教育事業に関わる教員、住民及び市町村職員の動員機会と受講後のフォローアップ研修を体系化することに加え、社会教育法に基づき対象者を明確に分類することで、それぞれの役割に応じた的確なスキルアップを図る。</li> <li>道民カレッジ事業自体の在り方や内容を検討する過程において、社会人の学び直しや多様な背景を持つ人々のニーズに応じた学習機会の提供の手段について検討する。</li> </ul>

令和3年度 補助指標調書①	施策名	生涯学習の推進	施策コード	11071
---------------	-----	---------	-------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
社会教育の推進構想等を策定している市町村の割合		目標値	-	92.3	94.8	100	92.5%	B
		実績値	-	86.6	87.7	-		
設定理由	市町村における生涯学習・社会教育の推進の度合いが分かる指標となり、事業効果の市町村への浸透度合いを分析することができるため。							
分析（主な取組と成果）								
80%以上の市町村が計画を策定している状況ではあるものの、目標値は下回っている。R2年度からは社会教育主事講習を実施し、市町村における社会教育主事任用候補者を直接育成できることになり、R3年度からも引き続き実施することで、市町村での生涯学習・社会教育推進への機運を高め、計画策定を促進できると考えている。								

補助指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名④			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑤			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

